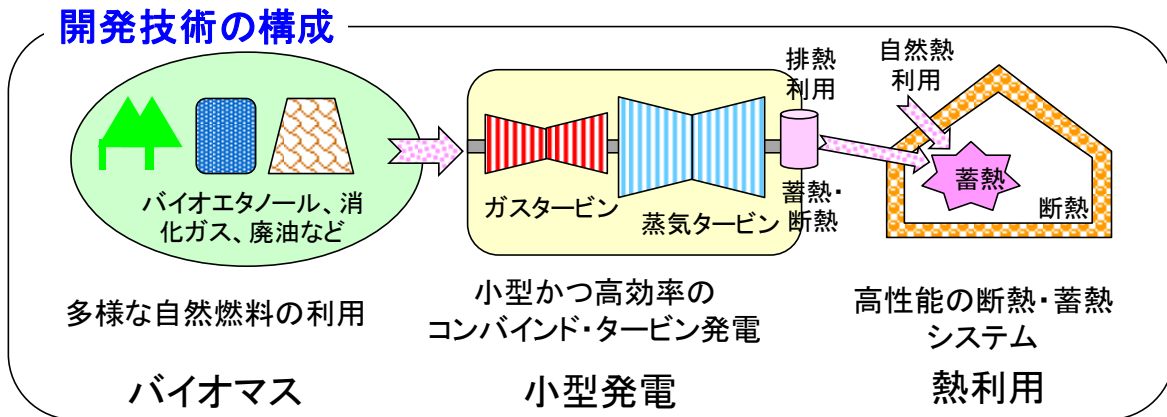


平成 26 年度の活動報告 松原秀彰(東北大学)

○省エネのための材料およびシステムの研究

- ・「多孔質シリカ粉末およびシリカエアロゲルを用いた真空断熱材の開発」、松原秀彰、井須紀文、高田雅介、セラミックス、49(2014)、653-658.
- ・「温熱・冷熱利用システム構築のための新規断熱材料と熱損失の解析」、大島詩季子、須藤祐子、石田秀輝、松原秀彰、日本セラミックス協会、秋季シンポジウム(鹿児島大学)、平成 26 年 9 月 10 日.
- ・「高性能断熱・蓄熱材を導入した温熱・冷熱利用システムに関する研究」、大島詩季子、須藤祐子、石田秀輝、松原秀彰、日本セラミックス協会、基礎討論会(京都)、平成 27 年 1 月 9 日.
- ・「環境無負荷型の発電・熱利用システムの開発(仮題)」の提案活動を開始。



○コンピューターシミュレーションを用いた材料設計

- ・「高温物質移動および組織の時間依存挙動のシミュレーション技術開発」をSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に提案し採択、平成27年11月より研究開始。JFCCを研究拠点としてセラミックスコーティングと連携。
- ・JFCCにおける「焼結シミュレーションフォーラム」の運営、セラミックスを中心とした材料の焼結・粒成長シミュレーション技術の応用展開を関連会社と連携して進展。

○その他

- ・硬質材料の材料開発 日本特殊合金(株)等との共同研究により新しい超微粒超硬合金の開発と応用を進展。
- ・セラミックス等の組織微粒化に関する新技術の研究を展開。